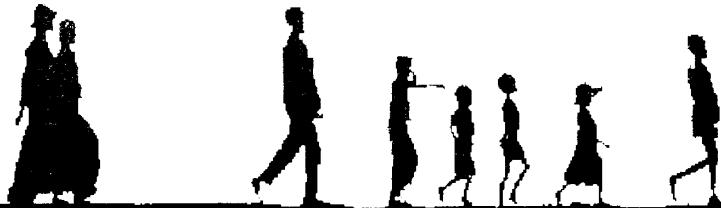


# 図書館通信

静岡大学附属図書館報

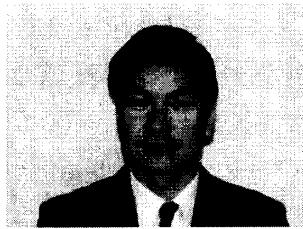
No.146



2004.1

●シリーズ“すばらしい本の世界” ●シリーズ“！”第14回 JDream

●文献検索ガイダンス実施報告 ●図書館配架雑誌リスト一覧 ●図書館からのお知らせ



## 附属図書館の年度計画

市川 朗

## 年末・年始の読書計画

副学科長兼コース長の仕事が1ヶ月を切り、2003年度は少し気分的に楽になると喜んでいた3月、佐藤前学長から電話があり浜松分館長の仕事を命ぜられた。図書館に年に2~3度しか行かない者が適格とは到底思えないが、それは候補に選んだ工学部の見識の問題ということにしよう。幸い図書館の運営は、図書館委員会の議を経て一本化して行っているので、館長は大変お忙しいが分館長の仕事は限られたものとなっている。

法人移行準備本部から今月（11月）、大学の中期計画に基づく各部局の年度計画の提出が求められ、附属図書館においてもその原案が作成された。その中から、分館に関連の深い

- ・電子ジャーナル（3,200タイトル、6,200万円）および2次資料データベース（9種類、1800万円） 経費の全学共通化
- ・浜松分館・総合情報処理センター複合施設整

備の2点を紹介したい。

電子ジャーナル契約は、出版社に対し大学の冊子体購読規模を維持することで可能となっていたが、公費の減少に伴い昨年来その維持が不可能となった。特に本年度は、法人化準備費用の負担のため研究費はほぼゼロといわれていたため、関連冊子体の購読中止は、金額で56%を上回った。このような状況の中、館長のご尽力および各部局長のご理解により電子ジャーナルの共通経費化が認められた。図書館の第一の使命は、学術情報の安定的提供であり、予算の減少、契約金の値上がりなど今後の問題はあるものの、電子ジャーナルに関してはひとまずこれが確保されたといえよう。しかし、来年度購読予定の冊子体外国雑誌でみると、電子ジャーナル関連とその他の比率は金額で1:1.7であるから個人またはグループ負担の雑誌がまだ多数ある。その他の雑誌で来年度購

読中止となった割合は29%であるが、今後の予算次第でさらに増えると思われる。この範疇には共通費負担はないので不公平感も否めない。図書館としては、電子ジャーナル関連以外の外国雑誌も主要なものは継続的に提供できることが望ましいが、予算的裏づけがないので独自には解決できない問題である。

図書館では本年、研究室貸出図書の点検作業を開始し、図書の返却も同時に受け付けている。これらの図書も本来は図書館に設置するのが筋と思うが、現在すべての貸出図書を引き取る余裕は図書館にない。特に分館のスペース不足は既に限界に達している。分館の増築は総合情報処理センターとの複合施設として総合情報処理センター発足時から概算要求されているが、全学の建物整備計画や全国の情報処理センター整備計画の狭間で実現に至っていない。建物を持たない総合情報処理センターは他に例がないのでこの複合施設の早期実現を図らねばならない。そのためには図書館や総合情報処理センターの要求としてではなく、大学全体の建物整備計画の一環として概算要求する必要がある。

上記2つの計画はいずれも図書館だけで実現できる計画ではなく、大学の中期計画・方向性と密接に関連するものである。全学のサポートをお願いしたい。

慣れない分館長という立場を離れ、読書について少し個人的なことを述べたい。もう20年以上も前のことであるが、D.W. Stroock and S.R.S. Varadhan, *Multidimensional Diffusion Processes* という330ページほどの確率微分方程式の本を、一気に読んで見たくなった。丁度1年カナダのUBCに研修に行く機会ができたので、最初の1ヶ月で読み終えることにした。毎日それだけに集中できる生活に喜びを感じた。翌月もう1冊の本を読み終えると、論文が書きたくなった。そのとき書いた論文は、いろいろ欲張って長くなり、改訂を余儀なくされたが自己最長になった。高校で論語を習ったとき、なるほどと思った一節がある。知之者不如好之者。好之者不如樂之者。

カナダで勉強や研究を楽しんだとまで言い切れないと、それに近い気持ちであったように思う。その後、このように集中的に勉強する機会はなかなか訪れない。そのころ超閏数論で有名なフランスの数学者 L. Schwartz は、週3日自由な時間が確保できないと研究はできないと、悪化しつつあったフランスの研究環境改善を訴えていた。

現在の専門は、制御工学である。計測自動制御学会前会長の木村英紀氏（制御工学の考え方、講談社、ブルーバックス、2002）によれば、制御とは「目的に向けた影響力の持続的行使」である。制御の目的は安定化と目標追従に代表される。大学というシステムにも制御が必要な時代が来たのであろうか。法人化に向け揺れる大学を安定化し、中期目標への追従が求められている。図書館といえば、電子ジャーナルの共通経費化は安定化である。次に何を追従するかが重要となる。

一般的の読書でも、集中して読みたくなる癖がある。夏や正月の休み前にそんな気になる。特に当てもなく本屋で物色する。500ページ位のものを数日から1週間かけて読む。面白かった本を2, 3あげるとすれば

- 神坂次郎, 縛られた巨人 南方熊楠の生涯, 新潮文庫, 1991
- 松本 修, 全国アホ・バカ分布考, 新潮文庫, 1997
- Jostein Gaarder, Sophie's World, Phoenix paperback, 1996
- M.ミッケル・ワールドロップ, 複雑系, 新潮文庫, 2000

であろうか。熊楠では、こんなにスケールの大きな破天荒な天才的学者がいたのかと引き込まれた。「全国アホ・バカ分布考」は、文化が水面を伝わる同心円の波のように広がっていくことが、九州と東北の言葉の共通点から実証されるなど感心させられた。「ソフィーの世界」は世間で大騒がれていたので、少しひねって英訳本で読んだ。英語の表現とともに、哲学をどのように説明していくのかを楽しんだ。読んだ後、娘に勧めたが、見向いてくれなかった。「複雑系」はアメリカのシン

クタンク「サンタフェ研究所」の物語であるがアメリカのダイナミックな研究組織と研究者の様子が分かり興味深い。

さて、今年の冬休みはどんな本と出会うだろう

【紹介された本】（静＝静岡本館／浜＝浜松分館）※開架・閉架両方にある場合は開架のみ表示

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 『Multidimensional diffusion processes』 | 静／閉[418.7/ST8]                        |
| 『制御工学の考え方』                             | 静／開[408/B74/S1396]<br>浜／開[548.3/KI39] |

か。読みたい専門書も沢山ある。分館長室は静かで読書に最適な場所である。しかし、まだその恩恵に与る機会はない。

（工学部電気・電子工学科）

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 『縛られた巨人』     | 静・浜／開[913.6/KO82]     |
| 『全国アホ・バカ分布考』 | 静・浜／開[810.2/MA81]     |
| 『ソフィーの世界』    | 静・浜／開[949.63/G11]     |
| 『複雑系』        | 静／開[404/W36]・浜／開[発注中] |



## 奥手の本好き

澤田 均

この原稿を11月に書いている。昨日は農家で分けてもらった蜂屋柿で干柿づくりをしていた。皮をむいて柄に紐を通して、ベランダに吊るす。数日後に揉みの工程に入り、2週間ほどで完成する予定だ。今年は11月というのに高温が続き、カビがつきやすい。産地では硫黄燻蒸で殺菌してから干すようだが、我が家ではピンセットでカビを取り除きアルコールで拭いて殺菌している。少々手間はかかるが、なんとも鄙びて楽しいものである。妻も私も北国育ちで静岡に来てから干柿づくりをするようになった。晩秋に柿の木という郷愁を誘う（と教科書で習った）風景にあこがれていたのかもしれない。今や干柿なしに11月を送れなくなつた。あつという間に終える緑がかった白い花の咲く頃から気になり始め、10月下旬にはそわそわしている。干柿のつくり方から、柿そのものや柿渋のことなど興味を覚えて、本で調べるようになった。そのうち柿の木だけでなく、近所で見かける庭木・街路樹の類にも興味を覚えて調べるようになった。これから季節のお気に入りはロウバイとミツマタである。このように何かに好奇心をもつと、その関係の本を読みたくなる。そのうち好奇心が広

がっていく。これも読書のきっかけである。

本好きでない人に読書の楽しさを伝え、本好きになるきっかけを書くように。そう、図書館長に依頼された。今現在、学科長をしているので、教育活動への強迫観念が強く、これも教育の一環とばかりにうかつに引き受けてしまった。うまく断れなかつた。かなり後悔している。私には本好きに変える魔法なんてとても使えないもの。そもそもこういう依頼には、自分の大学生活を振り返り、高尚な教養書を掲げ、いかに自分が読書によって変わったか、人生が豊かになったかを書いて応えるのが順当である。それならば、阿部謹也氏の「読書力をつける」であろう。読書経験の貧しい私には重荷である。好奇心をもつと、本を読むようになる。そのうち読書の範囲が広がる。まして必要に迫られると、いやでも本を読むようになる。これも読書のきっかけであるというしかない。

学生時代の読書経験は本当に貧しい。1年生の英語の授業で柏木 博先生がペンギンブックスのヴァージニア・ウルフの1冊を選んでくださったのに、何を書いてあるのかさっぱり分からず、1回110分の授業はただ頭上を通り過ぎるのみであっ

た。入学時に兄に薦められたデカルトの「方法序説」は3ページ目まで達しなかった。プラトンの「ソクラテスの弁明」も然り。夏休みに少しは読めば良いものを、手稲山口のスイカ農園のアルバイトで能天気に過ごしてしまった。青空の下、ひたすらスイカを収穫する毎日で、頭の中はすっかりからっぽである。野外の経験をいろいろと重ねるほうに専念していたと思いたい。3年生の夏休みに涸沢キャンプ場で数日来の悪天候で停滞中のこと、食べ物は節約、寝るのにも飽き、尻取りにも飽き、友人とうだうだ過ごしていた。そのうち誰かが、もし無人島に流されて1冊だけ本を持っていけるとしたら、何をもっていきだらうね、と言った。あれこれ思案してやっと出した結論はなんと汽車の時刻表であった。たしかに暇つぶしには最適である。旅の経路をあれこれ考えたり、安上がりな経路を探したり、西村京太郎のようにトリックを考えることもできる。暇つぶしの点では理にかなっているが、無人島の1冊としてはなんとも情けない。読書経験が貧しくなければ、あの詩集などとくさいことを言っていたかもしれない。

ところが、人は変わるものである。それを身をもって経験したのは40代に入るころのこと。突然、本を読むようになった。「方法序説」も「ソクラテスの弁明」も読み直した。それも旅先の地下鉄で読んだ。詩集も読むようになった。ヴァージニア・ウルフも、ペンギン評伝双書の翻訳が出版されるや、気になって読んでしまった。柏木先生は何かしら影響を与えてくださったようである。どうも私は奥手なのかもしれない。学生時代は経験をつんだり、自然に親しむことに専念したが、ようやく読書に目覚めたようである。

今現在、私が読む本には2種類ある。仕事用の本と楽しみの本。図書館通信144で人文学部の山下秀智氏も書いておられたが、楽しみの本にも2種類ある。気楽な本と少々やっかいな本。少々やっかいな本の紹介は他の方にお任せして、気楽な本について紹介したい。どんなものが気楽な本か?これは人それぞれである。おそらく、みなさんもそのうち自分にとっての楽しい本を見つけて、気

軽に読むようになる。冒頭の柿の件は私にとっての楽しい読書の1つである。干柿づくりをきっかけにいろいろな分野へ広がっている。たとえば、柿渋の採り方、柿渋塗り、柿渋染め。使い込まれた柿渋塗りの日本酒のしづり袋からつくられた布地などなかなか乙である。干柿づくりや柿渋染めで食農教育をしている人たちもいて、仕事用の読書にもなりつつある。

気楽な本で一番多く読むのは推理小説である。学生時代はほとんど読まなかったが、今や精神安定剤代わりに多読している。お気に入りのジャンルは英國ミステリーで、警部フロスト、警視ダルグリッシュ、警部リーバス、主任警視ダルジールのシリーズものは新作が出るのを待ちしている。訳本がなかなか出ないので、手当たりしだいの乱読気味である。気楽な本だから、読んだそばからディテールを忘れていくが、それでも長いこと記憶に留めていることもある。きっと少しほのふるまいや物の見方に影響しているのだろう。

40代は楽しい本の範囲を広げた時期もある。これまで寄り付きもしなかったジャンルに手を広げた。例えば詩も読むようになった。まど・みちおのひらがなで書いた詩を読むと情報過多で混乱した頭がすっきりするし、アーサー・ビナードの詩は理科的で肌によくなじむ。妙に気に入ってオクタビオ・パスの詩も読んでいる。どこが気に入ってる? そう問われても、うまく答えられないが、その明晰な言葉と飛躍するイメージに圧倒されている。「二重の炎」というエッセイも素晴らしい。

最後に大急ぎで仕事の本。私の専門は生態学である。だから生態学関係の本を大量に読む。18才から20才は最も頭の鍛えがいのある時期と森嶋通夫氏も述べているが、全く同感である。そこで、この機会に生態学の良書を推薦しておきたい。生態学全般ではタウンゼントらが執筆した教科書「Essentials of Ecology (2nd ed.)」がお薦めだが、翻訳はされていない。その代わり、この親本に当る大著「生態学」が2003年3月に翻訳されている。この大著と格闘してみてはどうだろう。分野を進化生態学に狭めれば「生き物の進化ゲーム」、

花生態学ならば「花生態学の最前線」がお薦めである。菊沢喜八郎氏の「北の国の雑木林」もお薦めしたい。菊沢先生は若いころから伝説の生態学者であった。先生の2つ目の学位論文を読みやす

くまとめたものが本書である。一読に値する。それでは、在学中に脳も体もじっくり鍛えて社会に出る準備をするように願っている。

(農学部人間環境科学科)

**【紹介された本】 (静=静岡本館／浜=浜松分館) ※開架・閉架両方にある場合は開架のみ表示**

『釣り上げては』 アーサー・ビナード. 2000 思潮社  
静／閉[911.56/B44]・浜／開[発注中]

『読書力をつける』 阿部謹也. 1997 日本経済新聞社  
静／開[発注中]・浜／開[発注中]

『庭木・街の木』 岡部 誠ら. 1999. ポケットガイド4 小学館 静／開[発注中]・浜／開[発注中]

『二重の炎』 オクタビオ・パス(井上義一・木村榮一訳). 1997 岩波書店 静／開[発注中]・浜／開[発注中]

『続オクタビオ・パス詩集』 オクタビオ・パス (眞辺博章訳). 1998 土曜美術社  
静／開[発注中]・浜／開[発注中]

『北の国の雑木林』 菊沢喜八郎. 1986 蒼樹書房  
静／閉[652.7/KI29]・浜／開[発注中]

『生き物の進化ゲーム』 酒井聰樹ら. 1999 共立出版 静・浜／開[468/SA29]

『花生態学の最前線』 種生物学会編. 2000 文一総合出版 静／開[471.7/SH99]・浜／開[発注中]

『方法序説』 デカルト (谷川多佳子訳). 1997 岩波文庫 静／開[080/I95BB/B613(1)]

※浜／開[080/SE22/21] (『世界の大思想』)

『ペンギン評伝双書—ヴァージニア・ウルフ』 ニコルン (市川 緑訳). 2001 岩波書店

静／開[発注中]・浜／開[発注中]

『ソクラテスの弁明・クリトン』 プラトン (三島輝夫・田中享栄訳). 1998 講談社学術文庫  
静／開[080/KO19/B1316]

※浜／開[080/SE22/19] (『世界の大思想』)

『生態学』 ベゴンら (堀 道夫監訳). 2003 京都大学学術出版会  
静／開[468/B32]・浜／開[発注中]

『学校・学歴・人生』 森嶋通夫. 1985 岩波ジュニア新書 静／開[発注中]



図書館通信第145号の訂正 (分館サービス係)

図書館通信第145号掲載のシリーズ“すばらしい本の世界”にて紹介された本のうち、

【浜／開[発注中]】となっていた本の一部が絶版のため入手できませんでした。

入手できなかった本は以下の通りです。

- |          |                |            |
|----------|----------------|------------|
| ・『青春論』   | ・『存亡の条件』       | ・『日本人とは何か』 |
| ・『城下の人』  | ・『広野の花』        | ・『望郷の歌』    |
| ・『誰のために』 | ・『アルト・ハイデルベルク』 |            |

浜松分館にはありませんが、静岡本館で所蔵していますので配送便にて取り寄せることができます。  
是非ご利用下さい。

## シリーズ！ 第14回

### J Dream (JOIS固定料金制)

JDreamは、JOIS（科学技術文献速報のデータベース）のWeb版（旧JOIS Easy）で、国内外の科学技術分野の文献を検索できます。浜松分館内専用パソコン及び浜松キャンパス内の研究室等のパソコンから利用が可能です。24時間いつでも利用できます（システムメンテナンス時は除く）。また年間固定料金制ですので、料金の負担はありません。

※静岡キャンパスの方へ

JDreamは、契約の都合上、浜松キャンパス内のみの利用となっておりますが、浜松分館において代行検索を受け付けます。図書館ホームページのJDreamの代行検索のページを参照の上、浜松分館にお申し込みください(<http://www.lib.shizuoka.ac.jp/JDreamDaiko.html>)。

#### 【利用できるデータベース】

JSTPlus（世界の科学技術分野の文献情報。1981－現在）

JST7580（世界の科学技術分野の文献情報。1975－1980）

JMEDPlus（国内発行の医学・薬学等に関する文献情報。1981－現在）

医学・薬学予稿集（医学・薬学等学会の予稿集の全文DB）

#### 【開始と終了】

図書館のホームページからJDreamにアクセスできます。ログインの「お名前」の欄には所定の所属コード（数字4桁）を入力してください。

JDreamを終了する場合は、ブラウザの閉じるボタンで終了するとログアウトできずに20分間利用できなくなりますので、必ずログアウトボタンで終了してください。

#### 【検索画面】

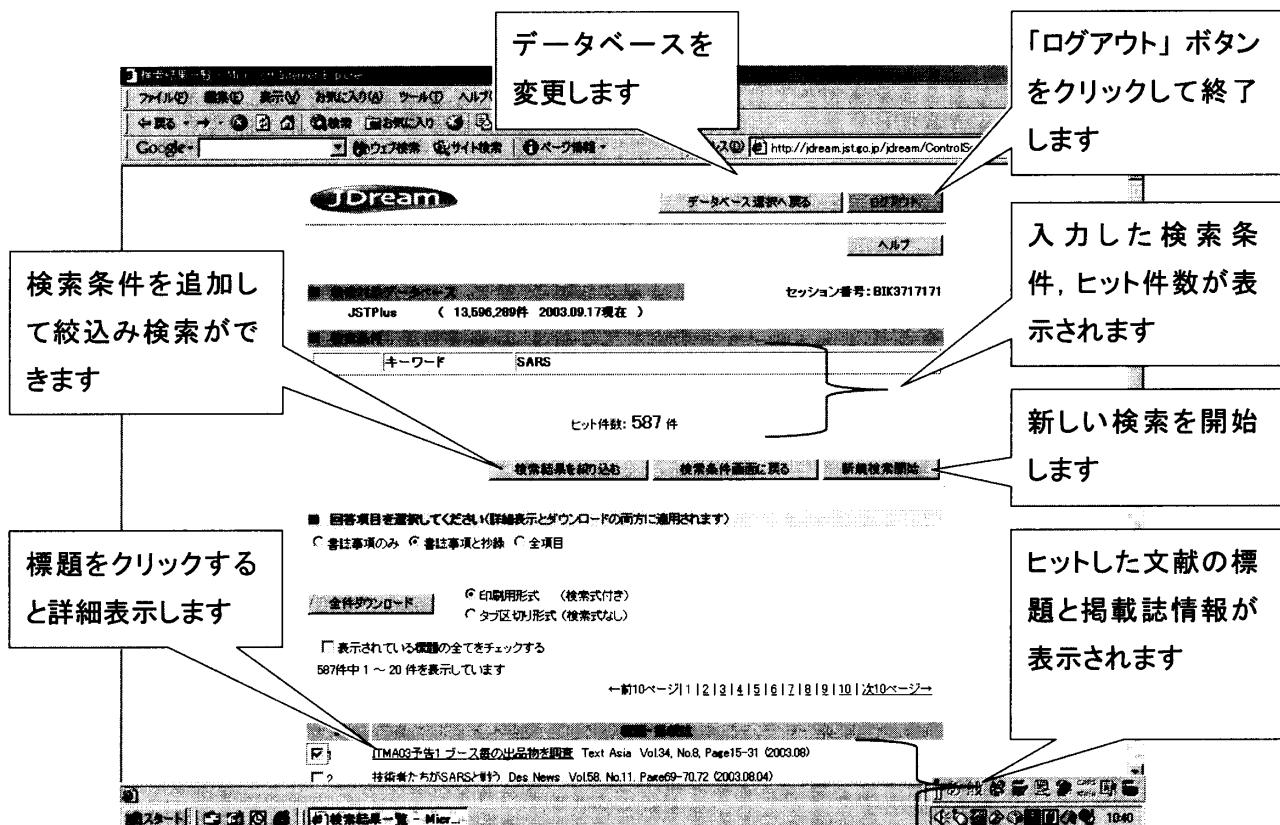
キーワード検索条件、検索範囲の絞込みを指定して、「検索」をクリックします。

The screenshot shows the JDream search interface. A large callout box on the right side contains the text: "入力ボックスに検索語を入力して、「検索」ボタンを押します". Another callout box on the left side contains the text: "検索項目にはキーワード、標題、機関名、著書名などが選択できます". A third callout box at the bottom left contains the text: "演算子 AND、OR、NOT が選択できます". A fourth callout box at the bottom left contains the text: "発行年、言語、記事区分等で検索範囲の絞り込みができます". The main search form includes fields for keywords (SARS), operators (AND), and search conditions (date range, language). Below the search form is a table for specifying search ranges by publication year, language, and subject.

検索範囲	<input type="checkbox"/> 索引付き最新登録分のみ	<input type="checkbox"/> 未来引き降ろく	<input type="checkbox"/> 抄録付き文献のみ		
発行年	<input checked="" type="radio"/> From: 指定しない ~ To: 指定しない	<input type="radio"/> 最新3年	<input type="radio"/> 最新10年		
言語	<input type="checkbox"/> 日本語	<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> ドイツ語	<input type="checkbox"/> フランス語	<input type="checkbox"/> ロシア語
	<input type="checkbox"/> オランダ語	<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> 中国語	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> その他

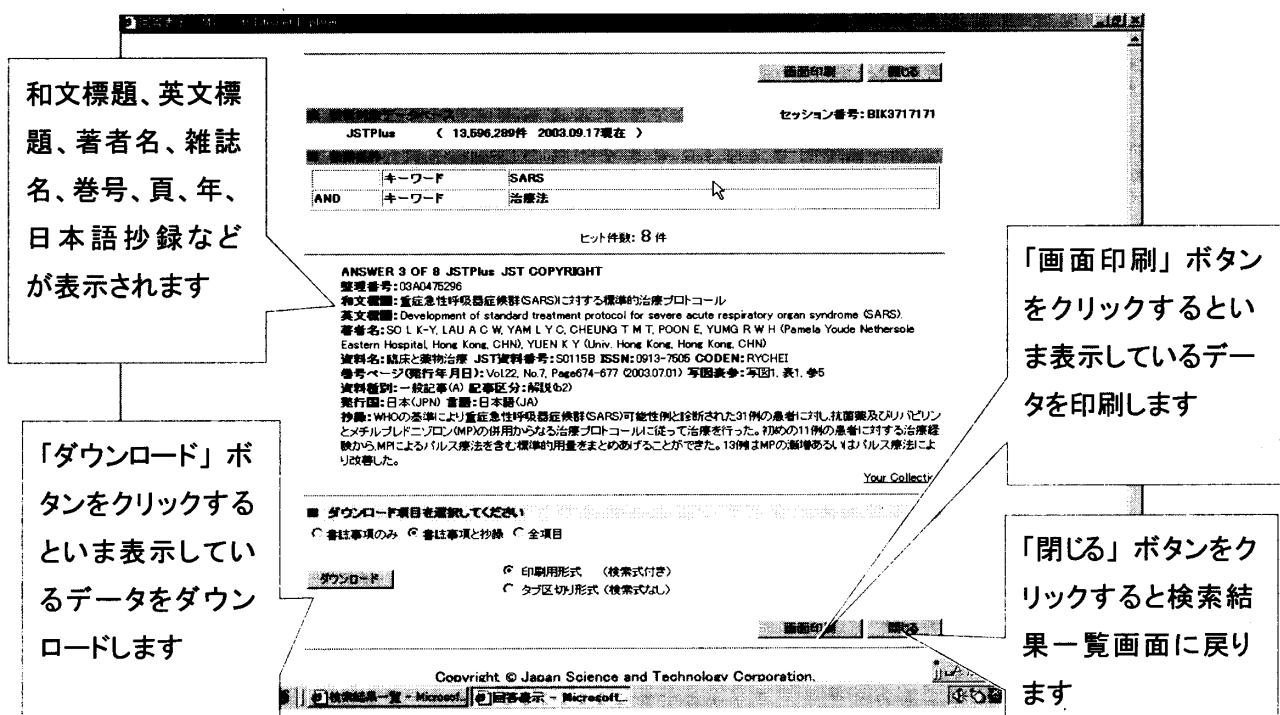
## 【検索結果一覧画面】

検索結果一覧画面では、ヒットした文献の標題と掲載誌情報が表示されます。標題をクリックすると詳細情報が表示されます。またチェックした文献をまとめて詳細表示することもできます。



## 【詳細表示画面】

詳細表示画面では、文献の詳細データが表示されるとともに、画面印刷およびダウンロードすることができます。



## 平成15年度附属図書館（浜松分館）文献検索ガイダンス実施報告

主に学部4年生および大学院生を対象とした文献検索ガイダンスが浜松分館SCSメディアルームにおいて平成15年10月1日(水)～10月31日(金)までの期間で実施されました。

原則的に1回のガイダンスで10名程度で約90分、図書館職員1名または2名で対応しました。受講者は全15回で合計93名、その内、院生が41名、学部4年生が38名、あとは学部3年生、教官、研究生でした。

内容については以下のとおり。

- ・文献DB（JDream、NACSIS-IR、MAGAZINE-Plus、SwetScan、SciFinder）の検索法の説明と実習
- ・電子ジャーナルの見方の説明と実習
- ・文献入手法についての説明

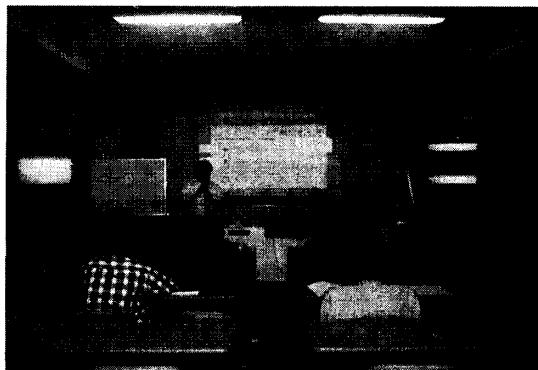
文献DBと電子ジャーナルの説明では、プロジェクターを使って大型スクリーンに映し出し

たパソコンの画面を見てもらしながら説明しました。実習では、用意したノートパソコン15台を使って、受講者自身による実習を行ってもらいました。文献入手法については、「図書館における文献利用法」という資料を元に説明しました。

研究室により希望される内容がさまざまでしたので、実際は研究室ごとに異なった内容のガイダンスを実施しました。

受講者のガイダンスへのアンケートでは、内容について「満足した」という意見が多く、ガイダンスが役に立ったと考えておりますが、実施時期については「もっと早い時期に実施してほしい」という意見が半数近くありましたので、来年は実施時期などについて検討し、より有効なガイダンスが実施できるようにしたいと思います。

### [説明]



### [実習]



## 平成15年度卒論修論生のための情報収集講座実施報告

静岡本館でも去る10月27日から31日の1週間、合計6回実施しました。ゼミ等のグループでも受付をし、参加者は合計56名でした。この講座参加の動機は“先生からの薦め”が圧倒的に多く、教官との連携の必要性を感じました。アンケート結果は“非常に役にたった”・“役にたった”が95%という数字となりました。今後実施内容・広報方法等も含め検討をし、より役立つ講座を提供したいと思います。

# 平成16年度 開架雑誌一覧 (寄贈雑誌を除く)

## 静岡本館 (4階雑誌コーナー)

- Aera = アエラ
- Asahiパソコン
- ASCII
- BT : 美術手帖
- Journal of oleo science
- Mode et mode
- Newsweek 日本版
- Sapios
- SERIトピックス
- アサヒカメラ
- アジア・アフリカ研究
- 英語教育
- 英語青年
- 築養と料理
- エコノミスト
- 演劇界
- 音楽の友
- 音楽教育学
- 音楽教育研究ジャーナル
- 音楽教育実践ジャーナル
- オレオサイエンス
- 化学と教育 = Chemical education
- 化学と生物
- 化學
- 科学史研究 第II期
- 科學
- 学校基本調査報告書
- 学術月報
- 環境と公害
- 基礎ドイツ語
- 季刊静岡の文化
- 季刊清水
- 季刊民族学
- キネマ旬報
- 教育
- 教育音楽 小学版
- 教育音楽 中学・高校版
- 教職課程
- 蓼しの手帖 4世紀
- グランドオペラ
- 群像
- 経済セミナー
- 経済資料研究
- 藝術新潮
- 月刊海洋 : kaiyo monthly(含号外)
- 月刊言語
- 月刊国民生活
- 月刊人民中国
- 月刊地球 (含号外)
- 月刊天文
- 月刊日本語
- 月刊福祉
- 月刊文化財
- 現代コリア
- 現代のエスプリ
- 現代化学(含増刊)
- 現代思想
- 現代詩手帖
- 現代農業
- 厚生労働
- 工業統計調査報告書
- 國語學
- 國語國文
- 國語と國文學
- 国語表記実務提要
- 国文学解釈と鑑賞
- こころの科学 = Human mind
- 昆虫と自然
- 史學雑誌
- 静岡県学校関係法令集
- 静岡縣勢要覽
- 静岡県の県民經濟計算
- 静岡県の統計
- 静岡県毎月勤労統計調査年報
- 思想
- 詩学
- 児童心理
- 受験新報
- 就職 ジャーナル
- ジュリスト(含別冊)
- 情報の科学と技術
- 新潮
- 人権と部落問題
- 数学
- 数学セミナー
- 数理科学
- 昂
- 世界
- 世界の労働
- 生物科学
- 全国博物館総覧
- たしかな目
- 旅
- 短歌
- 地図
- 地理
- 畜産の研究
- 中央公論
- 中国語
- テアトロ
- 道徳と教育
- 東洋学術研究
- 図書館雑誌
- ナショナルジオグラフィック
- ナンバー : スポーツグラフィック
- 日経サイエンス : 日本版(含別冊)
- 日経トレンド
- 日本音楽療法学会誌
- 日本古書通信
- 日本語ジャーナル
- 日本児童文学
- 日本統計月報
- 日本文学
- ニュートン
- 人間工学
- 農業および園芸
- 農業と經濟
- 俳句
- 博物館研究
- パリティ
- 判例時報
- 東アジアの古代文化
- 婦人公論
- 婦人通信
- 部落解放
- ふらんす(含別冊)
- 文學
- 文學界
- 文藝
- 文藝春秋
- 法学セミナー(含別冊)
- 法学教室
- 法律のひろば
- 法律時報
- (含別冊:私法判例リマーカス)
- 本の雑誌
- 毎日ライフ
- みんなのスポーツ
- やさしい手
- 山と渓谷
- ユリイカ : 詩と評論 = Eureka
- 理系への数学
- 理想
- 歴史評論
- 歴史學研究
- レコード芸術
- 労働運動
- Critique
- Ethics
- L'Infini
- Mind
- National geographic
- Nature
- Newsweek
- Popular mechanics
- Revue des sciences humaines
- Revue d'histoire littéraire de la France
- Science
- Sports illustrated
- Textile research journal
- Time : weekly newsmagazine
- USA news, world report

## 静岡本館（3階外国雑誌閲覧室）

- Acta mathematica
- Advances in applied probability
- American journal of mathematics
- American mathematical monthly
- Annales de l'Institut Fourier
- Annales scientifiques de l'Ecole normale supérieure
- Annals of applied probability
- Annals of mathematics. Ser. 2
- Annals of probability
- Annals of pure and applied logic
- Association of Asia Pacific Physical Societies bulletin
- Astérisque
- Astrophysical journal. Pt. 1 & 2
- Bulletin of American Mathematical Society. N.S.
- Bulletin of London Mathematical Society
- Bulletin of Polish Academy of Sciences. Mathematics
- Bulletin of symbolic logic
- Chemical communications
- Commentarii mathematici Helvetici
- Commentationes mathematicae Universitatis Carolinae
- Communications in algebra
- Communications in analysis and geometry
- Duke mathematical journal
- Ergodic theory and dynamical systems
- European physical journal. A, Hadrons and Nuclei
- Fundamenta mathematicae
- Geometric and functional analysis : GAFA
- Hauswirtschaft und Wissenschaft
- Houston journal of mathematics
- Illinois journal of mathematics
- Indiana University mathematics journal
- Japanese journal of applied physics. Pt. 1 & 2
- Japanese journal of mathematics. New series
- Journal d'analyse mathématique
- Journal für die reine und angewandte Mathematik
- Journal of American Mathematical Society
- Journal of applied probability
- Journal of complexity
- Journal of differential geometry
- Journal of geometric analysis
- Journal of London Mathematical Society
- Journal of number theory
- Journal of organic chemistry
- Journal of philosophical logic
- Journal of physics. A, Mathematical and general
- Journal of symbolic logic
- Journal of the Physical Society of Japan
- Mathematica Scandinavica
- Mathematical logic quarterly : MLQ
- Mathematical proceedings of Cambridge Philosophical Society
- Mathematical research letters : MRL
- Mathematical reviews
- Mathematische Annalen
- Mathematische Zeitschrift
- Memoirs of American Mathematical Society
- Michigan mathematical journal
- Notre Dame journal of formal logic
- Optics letters
- Pacific journal of mathematics
- Physical review letters
- Physical review. Third series. C,E
- Physics of plasmas
- Proceedings of American Mathematical Society
- Proceedings of Edinburgh Mathematical Society. Ser. 2
- Proceedings of London Mathematical Society
- Progress of theoretical physics
- Progress of theoretical physics. Supplement
- Quarterly journal of mathematics
- Questions and answers in general topology
- Reviews of modern physics
- Studia logica
- Surveys in differential geometry
- Topology
- Topology and its applications
- Transactions of American Mathematical Society
- 朝日新聞. 縮刷版
- 毎日新聞. 縮刷版
- 読賣新聞. 縮刷版
- 日本経済新聞. 縮刷版
- 中日新聞. 縮刷版

## 浜松分館

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• Aera</li> <li>• Galac</li> <li>• Intelligence</li> <li>• Journal of the Japan Petroleum Institute</li> <li>• MJ無線と実験</li> <li>• National geographic</li> <li>• Newton</li> <li>• Number : sports graphic</li> <li>• Try!PC</li> <li>• アサヒカメラ</li> <li>• 朝日新聞. 縮刷版</li> <li>• インパクション</li> <li>• エコノミスト</li> <li>• 応用物理</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 音楽の友</li> <li>• 科学</li> <li>• 化学工学</li> <li>• 化学工学論文集</li> <li>• 科学史研究. 第II期</li> <li>• 化学と工業</li> <li>• 学術月報</li> <li>• 環境と公害</li> <li>• 機械の研究</li> <li>• 季刊銀花</li> <li>• 技術と人間</li> <li>• 空気調和・衛生工学</li> <li>• 経済</li> <li>• 経済セミナー</li> <li>• 月刊言語</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 月刊世論調査</li> <li>• 月刊地球環境</li> <li>• 月刊天文ガイド</li> <li>• 現代化学</li> <li>• 現代思想</li> <li>• 現代のエスプリ(含別冊)</li> <li>• 航空技術</li> <li>• 思想</li> <li>• 自動車工学</li> <li>• 社会学評論</li> <li>• 週刊朝日</li> <li>• 週刊金曜日</li> <li>• ジュリスト(含別冊)</li> <li>• 情況. 第三期</li> <li>• 情報処理</li> </ul> |
|--|---|---|

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報の科学と技術</li> <li>• 人工知能学会誌</li> <li>• 新潮</li> <li>• 新聞研究</li> <li>• 数学</li> <li>• 世界</li> <li>• ソシオロジ</li> <li>• 大学への数学</li> <li>• 旅</li> <li>• 地域社会学会年報</li> <li>• 中央公論</li> <li>• 電気化学および工業物理化学</li> <li>• 電気学会技術報告</li> <li>• 電気学会誌</li> <li>• 電気学会論文誌 A-E</li> <li>• 電子情報通信学会技術研究報告 . (DSP)/(EA)/(ET)/(SP)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電子情報通信学会誌</li> <li>• 電子情報通信学会論文誌. A-D</li> <li>• 都市問題</li> <li>• トランジスタ技術</li> <li>• 二十世紀研究</li> <li>• 日経エレクトロニクス</li> <li>• 日経サイエンス(含別冊)</li> <li>• 日経情報ストラテジー</li> <li>• 日経パイオ</li> <li>• 日経パソコン</li> <li>• 日経メカニカル</li> <li>• 日本音響学会誌</li> <li>• 日本機械学会誌</li> <li>• 日本機械学会論文集. A-C編</li> <li>• 日本航空宇宙学会誌</li> <li>• 日本航空宇宙学会論文集</li> <li>• 日本物理学会誌</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本労働社会学会年報</li> <li>• 日本ロボット学会誌</li> <li>• 文藝春秋(含別冊)</li> <li>• 別冊化学工業</li> <li>• 法学教室</li> <li>• 放送研究と調査</li> <li>• 法律時報</li> <li>• まてりあ : 日本金属学会会報</li> <li>• メディア史研究</li> <li>• モノ・マガジン</li> <li>• 山と渓谷(含別冊)</li> <li>• 理系への数学</li> <li>• 歴史評論</li> <li>• ロボコンマガジン</li> <li>• 論座</li> </ul> |
|---|---|---|
- 
- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• Aerospace science and technology</li> <li>• AIChE journal</li> <li>• American journal of sociology</li> <li>• American quarterly</li> <li>• American sociological review</li> <li>• Applied mathematical modelling</li> <li>• Archive of applied mechanics : Ingenieur-Archiv</li> <li>• Automotive engineering international</li> <li>• Bulletin of the Chemical Society of Japan</li> <li>• Canadian journal of chemical engineering</li> <li>• Catalysis reviews : science and engineering</li> <li>• Chaos : an interdisciplinary journal of nonlinear science</li> <li>• Chemical engineering research &amp; design</li> <li>• Chemistry letters</li> <li>• Comparative studies in society and history</li> <li>• Computer aided design</li> <li>• Computers, environment and urban systems</li> <li>• Discover</li> <li>• Evolutionary ecology research</li> <li>• Forschung im Ingenieurwesen</li> <li>• IEE proceedings. Communications</li> <li>• IEEE electron device letters</li> <li>• IEEE instrumentation and measurement magazine</li> <li>• IEEE signal processing letters</li> <li>• IEEE transactions on biomedical engineering</li> <li>• IEEE transactions on electron devices</li> <li>• IEEE Transactions on instrumentation and measurement</li> <li>• IEEE transactions on magnetics</li> <li>• IEEE transactions on microwave theory and techniques</li> <li>• IEEE transactions on pattern analysis and machine intelligence</li> <li>• IEEE transactions on signal processing</li> <li>• IEEE transactions on speech and audio processing</li> <li>• Industrial &amp; engineering chemistry research</li> <li>• Inter-Asia cultural studies</li> <li>• Japanese journal of applied physics. Pt. 1&amp;2</li> <li>• Journal of American Chemical Society</li> <li>• Journal of applied physics</li> <li>• Journal of catalysis</li> <li>• Journal of chemical engineering of Japan</li> <li>• Journal of Latin American studies</li> <li>• Journal of lightwave technology</li> <li>• Journal of medical engineering and technology</li> <li>• Journal of microwave power and electromagnetic energy</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Journal of research of National Institute of Standards and Technology</li> <li>• Journal of the Physical Society of Japan</li> <li>• JSME international journal. Ser. A-C</li> <li>• Lingua</li> <li>• Medical and biological engineering and computing</li> <li>• Nature</li> <li>• Naturwissenschaften</li> <li>• Newsweek</li> <li>• Optical engineering</li> <li>• Optical review</li> <li>• Optics communications</li> <li>• Physical review and Physical review letters index</li> <li>• Physical review letters</li> <li>• Physical review. Third series. B</li> <li>• Proceedings of IEEE</li> <li>• Proceedings. Mathematical, physical and engineering sciences</li> <li>• Review of scientific instruments</li> <li>• Science</li> <li>• SIAM journal on applied mathematics</li> <li>• SIAM journal on mathematical analysis</li> <li>• Software : practice and experience</li> <li>• Subsurface sensing technologies and applications</li> <li>• TESOL journal + TESOL quarterly</li> <li>• Time</li> <li>• Transactions of ASME.<br/>(Journal of applied mechanics)</li> <li>• (Journal of biomechanical engineering)</li> <li>• (Journal of dynamic systems, measurement and control)</li> <li>• (Journal of energy resources technology)</li> <li>• (Journal of engineering for gas turbines and power)</li> <li>• (Journal of engineering materials and technology)</li> <li>• (Journal of fluids engineering)</li> <li>• (Journal of heat transfer)</li> <li>• (Journal of manufacturing science and engineering)</li> <li>• (Journal of mechanical design)</li> <li>• (Journal of offshore mechanics and arctic engineering)</li> <li>• (Journal of pressure vessel technology)</li> <li>• (Journal of solar energy engineering)</li> <li>• (Journal of tribology)</li> <li>• (Journal of turbomachinery)</li> <li>• (Journal of vibration and acoustics)</li> <li>• Vision research : an international journal</li> </ul> |
|--|--|

## 図書館の動き

### ◆行事

#### 平成15年度 全国図書館大会（第89回静岡大会）

日時：平成15年11月27日(木)～28日(金)

場所：静岡市民文化会館、グランシップ、あざ  
れあ、ほか静岡市内会場

### ◆人事異動

平成15年11月7日付採用

橋本 智子[レファレンス係]

(レファレンス係 杉浦昭重 産休のため)



二日目の分科会（大学・短大・高専の部）  
で閉会の挨拶をする番場図書館長

## ♪ 図書館からのお知らせ ♪

### ☆ 5階第二閲覧室（ハーベストルーム）について

古い機種（Windows95）を撤去し24台としました。16台は机ひとつに1台設置となったので、4階カウンター前設置のパソコン検索では不自由だった資料を広げながらの情報検索が出来ます。平日9時から20時まで自由に利用できます。

### ☆書庫内にOPAC専用端末を設置しました

1階から3階の書庫にOPAC専用端末を設置しました。書庫内の検索をご利用ください。

\* 1階は集密書架前。2階は分類327（訴訟法）近辺。3階はエレベータ前に設置しています。

## 開館カレンダー（静岡・浜松共通）

2004年1月							
日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	
4	5	6	7	8	9		
		13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23		
		26	27	28	29	30	

2月							
日	月	火	水	木	金	土	日
	2	3	4	5	6		
	9	10		12	13		
	16	17	18	19	20		
	23	24	25	26	27		

3月							
日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5		
	8	9	10	11	12		
	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

\* 3/20～3/31は蔵書点検のため休館いたします。

開館 平日 9:00～22:00

開館 土・日・祝祭日 9:00～19:00

開館 平日 9:00～17:00 冬季休業期間中

休館 年末年始、入試など

\* 開館日・開館時間は変更されることがあります。臨時に休館する場合は別途お知らせします。

平成16年2月19日(木)以降に貸出した図書の返却期限日は次のとおりです。

(日付は変更されることがあります)

平成16年4月13日(火)

\*ただし、卒業予定者は通常どおりの貸出となります。

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第146号

(平成16年1月5日発行)

発行所 静岡大学附属図書館 〒422-8529 静岡市大谷836 Tel.054-238-4477 Fax.054-238-5408

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/home.html>

(再生紙使用)